



新年のご挨拶

院長 吉田 良二

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり、当院の役割について述べさせていただきます。当院は栃木県救命救急センターを担っており、従来から高度急性期病院として運営を行っております。外来では専門的な治療を要する方、入院では重症救急疾患や集中的に治療を要する方にご利用いただくことが、地域の中での役割であると認識し、日々高い技術の習得、医療の質の向上に努めてきました。その結果、昨年の診療報酬改定で、厚生労働省から、当院は高度急性期病院に相当するDPC II群に指定されました。今後はより一層、急性期病院に相応しい安全で信頼性の高

い医療を提供し、患者さまおよびご家族にご満足していただくことにより、地域の皆様に頼りにされる病院を目指していく所存です。

さて、皆さまもご存知のように年々少子高齢化が進む中、医療・福祉のニーズは益々大きなものとなってきております。今後、当院が高度急性期医療の役割を維持していくためには、地域の病院・診療所・福祉施設・在宅サービス等と連携を行うことができる医療体制を確立することが大変重要なこととなります。

すなわち、少しでも多くの重症患者さまを受け入れるために、急性期での治療が終わりましたら、回復期や長期療養期の病院に転院、あるいはご自宅にお帰りいただいで、地域のかか

りつけ医の先生方に診療をお願いすることや、訪問看護・介護サービスを行う施設でフォローアップをしていただくといったことが必要となってきます。ご本人やご家族に極力ご迷惑をおかけしないよう、当院スタッフが他の医療施設等と緊密な連携をとり、十分に配慮する所存です。ご理解を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆さまにとって希望に満ち溢れた年になることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



ちょこっとメモ 3月3日

目の日

3月3日は「み(3)み(3)の日」です。一般の人びとが耳に関心を持ち、耳の病気のことだけでなく健康な目を持っていることへの感謝や、いい音楽を聴かせて目を楽しませてあげるため、また目の不自由な人びとに対する社会的な関心を盛り上げるために昭和31年に制定されました。

毎年全国では難聴で悩んでいる方々への相談会のほか、一般の人びとにも耳の病気のことや健康な目大切さを知ってもらうための講演会などいろいろな活動が行われています。

ちなみにこの日は、三重苦のヘレン・ケラーにサリバン女史が指導を始めた日であり、電話の発明家にして饗(ろう)教育者であったグラハム・ベルの誕生日でもあります。

耳は私たちが生活していく上で外部から音の情報を得るための大切な器官です。自分の耳を労ってあげる良い機会かもしれませんね。

編集後記

みやのわ 編集スタッフのわ

あけましておめでとうございます。今年も皆さまのおかげで新年を迎えることができました。

さて、昨年の出来事を振り返ってみましょう。ソチオリンピックの開催、消費税増税、ワールドカップのブラジル開催、テニス錦織圭の全米オープン準優勝などたくさんありましたね。皆さまにとってはどのような年でしたか？

個人的には、昨年から「みやのわ」編集スタッフに任命され、先輩方の手を借りながら、新しい仕事にチャレンジできた一年でした。今年も、皆さまに寄り添い、分かりやすく役に立つ情報をお届けできるよう、努力してまいります！

2015年が皆さまにとってよりよい年になりますようスタッフ一同心より願っております。まだまだ厳しい寒さが続きますが、どうぞご自愛ください。本年も「みやのわ」をよろしくお願ひします。